

京都芸術教育フォーラム 2023

令和6年1月18日 THU. 18:30 ~ 20:30

主催 | 京都芸術教育コンソーシアム (Art-e 京都)
参加 | 無料
定員 | 100名 (事前申込制・先着順)
場所 | 京都市立芸術大学 C棟 1階 講義室 1 (『京都駅』徒歩6分)

第1部

Art-e 京都の取組
『芸術教育普及のいま
~つながる芸術教育~』

第2部

ゲストスピーカーによるトーク
『社会の中での芸術の役割』

第3部

トークセッション
『芸術と未来を考える』

— ゲストスピーカー —



石川 武志 氏

- 株式会社 Skeleton Crew
Studio スタジオマネージャー
- 株式会社 Sanka9
取締役・プロデューサー
- 一般社団法人 渋谷あそびば
製作委員会 理事
- Unknown Asia 実行委員会
プロデューサー



赤松 玉女 氏

- 画家
- 公立大学法人京都市立芸術大学
理事長・学長

— 申込方法 —

①~④を記載のうえ、電子メールまたはフォームからお申し込みください。

- ① 氏名
- ② E-mail アドレス
- ③【学校関係者のみ】勤務する学校の校種 (例: 中学校美術科教員)
- ④【任意】スピーカーへの質問、アートに関する疑問など

申込先アドレス

gakkousidouka@edu.city.kyoto.jp

※先着順のため参加の可否は、後日、受付完了メールでお知らせします。

「@edu.city.kyoto.jp」からのメールを受信できるように設定していただくようお願いいたします。

※オンデマンド配信につきましては、別途検討中。



電子メール



フォーム

主催 京都芸術教育コンソーシアム (Art-e 京都)

平成24年度に設立。京都・滋賀の芸術系大学や小中学校の研究会などが連携し、大学における教育・研究の発展、次代を担う子どもたちの生きる力を育む芸術系教育の充実・振興に努め、芸術創造都市・京都の創生に寄与することを目的としています。

(参加団体) 京都市立芸術大学、京都精華大学、京都芸術大学、嵯峨美術大学、嵯峨美術短期大学、成安造形大学、京都美術工芸大学、京都市京セラ美術館、京都市凶画工作教育研究会、京都市立中学校教育研究美術部会、京都市、京都市教育委員会

問い合わせ先: 京都市教育委員会事務局指導部学校指導課 京都市中京区烏丸通三条下ル 饅頭屋町 595-3 大同生命ビル7階 TEL: (075) 222-3851



京都で考える 未来につながる 「芸術」のちから

フォーラム概要

将来の予測が困難とされる時代の中、豊かな感性や想像力等を育む芸術教育の重要性は増えています。京都芸術教育コンソーシアムでは、平成24年度設立以来、芸術系大学と市立小中学校との連携や今回で12回目となるフォーラム等を通じ、芸術教育の普及に努めてきました。

今回のフォーラムでは、アートそのものはもちろんのこと、社会の中での「芸術」の役割をテーマとして取り上げ、インディーゲームやアートに関するイベント等、海外と日本の掛橋となり、ゲーム開発とそれを取り巻くエンタメ業界の環境の活性化に情熱をそそぐ『石川 武志 氏』、一貫して人間の多面性を主題に、様々な画材や技法を組み合わせた表現の研究、イタリアでの創作活動等を経て、京都市立芸術大学の学長に着任。クリエイティブで国際的な文化芸術の交流拠点となる「テラスのような大学」を追求する『赤松 玉女 氏』のお二人をお招きし、ともに考えていきます。

第1部 Art-e 京都の取組

『芸術教育普及のいま ~つながる芸術教育~』

芸術大学と小中学校で連携して行われている創意あふれる芸術教育普及のための取組をご紹介します。

第2部 ゲストスピーカーによるトーク

『社会の中での芸術の役割』

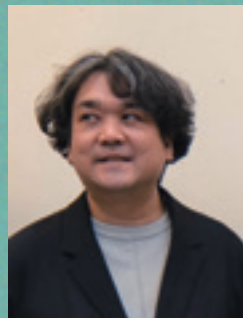
石川武志氏と赤松玉女氏のお二人に、作品制作や研究の中で感じる社会の中での芸術の役割や、芸術や自己表現を通じて自分も周りも一緒に楽しむことの価値、培われる力などについてお話いただきます。

第3部 トークセッション

『芸術と未来を考える』

ゲストスピーカーにファシリテーターを交え、事前にいただいていた質問を紹介しながら、芸術について、そして未来について、参加者の皆様と考えていきます。

ゲストスピーカー



石川 武志 氏

- 株式会社 Skeleton Crew
Studio スタジオマネージャー
- 株式会社 Sanka9
取締役・プロデューサー
- 一般社団法人 渋谷あそびば
製作委員会 理事
- Unknown Asia 実行委員会
プロデューサー

1977年生まれ。18年間、デザイン系専門学校で教職員として学校運営、学生指導、産学連携などに関わる。2015年よりアートイベント UNKNOWNASIA を立ち上げ、2017年より(株)スケルトンクルースタジオに参画し、マネジメント、開発業務、京都府、京都市との事業、インディーゲームイベント Bit Summit 運営など行っている。



赤松 玉女 氏

- 画家
- 公立大学法人京都市立芸術大学
理事長・学長

1959年生まれ。1984年に京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程絵画専攻(油画)修了後、国内外の美術館やギャラリーでの展覧会を中心に活動。油彩、水彩、フレスコ技法など、画材や技法を組み合わせた絵画表現の可能性を研究。イタリアでの創作活動などを経て、1993年に母校である京都市立芸術大学美術学部美術科油画専攻教員に着任。2018年度から美術学部長。2019年4月から現職。2020年度尼崎市民芸術賞、2021年度亀高文子記念一赤舛社賞。

ファシリテーター



東良 雅人

- 京都市総合教育センター 指導室長
- 元文部科学省視学官

関連イベント

ぽよよん DAYS 令和6年1月27日(土) 京都市京セラ美術館で開催予定
左京区の小学生を対象とした「展覧会作り」のワークショップです。
詳しくは京都市京セラ美術館のホームページ(イベント)をご覧ください。